



**富士通製 PC サーバ RX/TX シリーズと、  
イメーション製 RDX-A8  
及び RDX カートリッジの接続動作検証結果**

**テスト期間:2011 年 11 月 9 日～11 月 18 日**

**実施場所:イメーション株式会社内**

**2011 年 11 月 25 日  
イメーション株式会社**

## 目次

1. 検証概要	- 3 -
2. 製品概要	- 3 -
3. 検証環境	- 3 -
1) サーバ及び OS	- 3 -
2) 使用装置	- 3 -
3) OS の追加機能・役割・アプリケーション	- 3 -
4) 検証データ	- 3 -
5) 構成	- 4 -
4. 検証項目	- 5 -
5. 検証結果	- 5 -

## 1. 検証概要

今回の検証は、イメーション株式会社が製造・販売している「RDX-A8」および「RDX カートリッジ」と富士通製 PC サーバ「TX200/300、RX200/300」との接続互換性・動作確認・簡単な性能評価を行い、問題が発生しないことを確認する目的で実施致しました。

## 2. 製品概要

### Imation RDX-A8

A8 は最大 8TB のデータバックアップを可能とし、カートリッジ容量 160GB～1TB を自由に組み合わせて使用できるハードディスク装置です。iSCSI 接続に対応し、ラックマウント型(2U)に加え、据置きでの設置も可能。ARCserve、Backup Exec など主要なバックアップソフトウェアに対応し、1 台で 2 つの用途に対応可能な操作モードが設定できます。

また、DAT 等のテープオートローダーと比較して、故障の原因となる機械的な動きが少なく、ヘッドクリーニング等のメンテナンスが不要。すべての容量の RDX カートリッジに互換性を持ち、世代交代によるハードウェアの買い替えの必要がなく、テープオートローダーの置き換えに最適です。

- ・ テープオートローダー仮想モード

既存のバックアップソフトウェア資産を有効に活用。ホスト・アプリケーションからは、1つの LTO テープ・ドライブを搭載した 8 スロットのテープオートローダーに見えます。

- ・ 8 ドライブ HDD (JBOD) モード

クライアント PC のデータバックアップ、他拠点へのデータ移動、データ階層管理などの用途に柔軟に対応。

8 つのハードディスクとしてそれぞれの RDX を認識するモード。

## 3. 検証環境

### 1) サーバ及び OS

○富士通 TX200 S6

OS : Windows Server 2008 R2 Standard SP1

○富士通 TX300 S6

OS : Windows Server 2008 R2 Standard SP1

○富士通 RX200 S6

OS : Windows Server 2008 R2 Standard SP1

○富士通 RX300 S6

OS : Windows Server 2008 R2 Standard SP1

### 2) 使用装置

イメーション株式会社 RDX-A8 (品番: RDX-A8-IMN)

RDX カートリッジ : 500GB (品番: RDX-500GB-IMN) = Tape-Emulation Mode で使用

: 320GB (品番: RDX-320GB-IMN) = J-BOD Mode で使用

### 3) アプリケーション

アプリケーション: CA ARCserve16

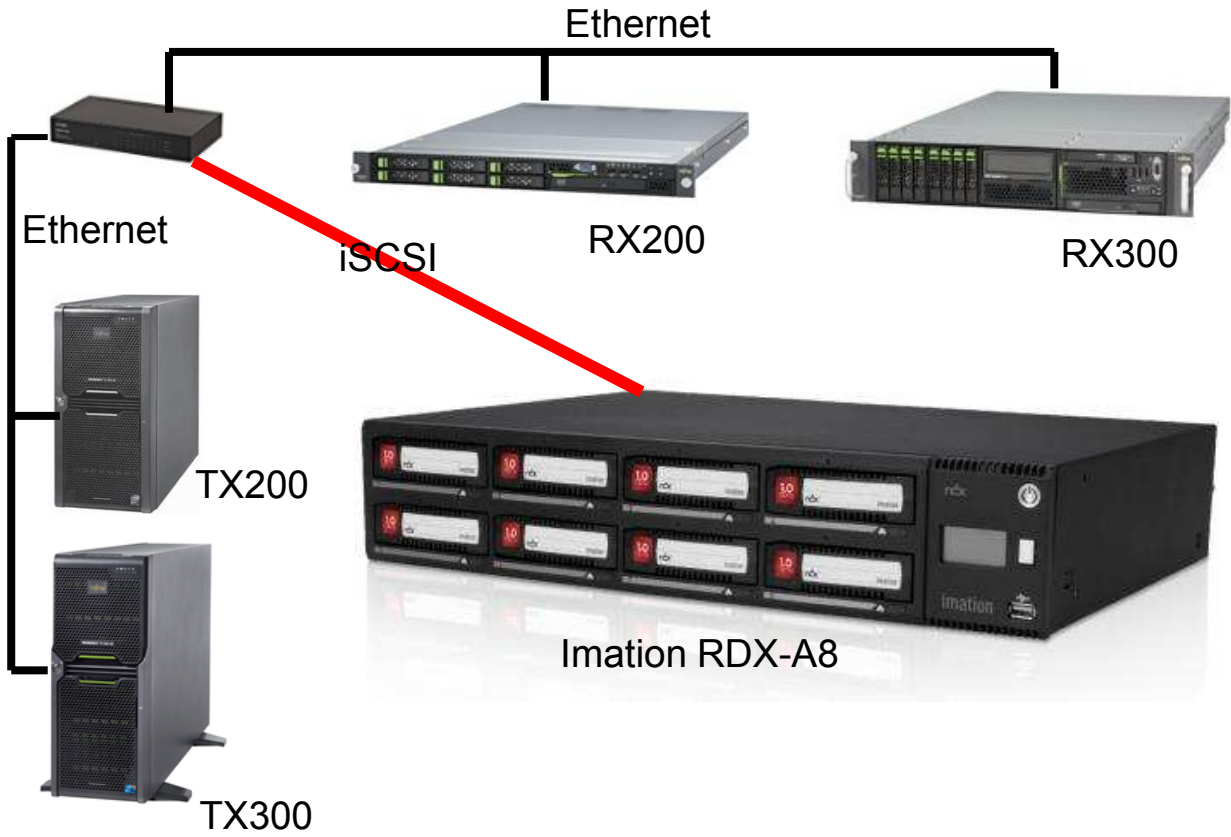
Symantec BackupExec 2010 R3 (5024ServicePack1 適用)

### 4) バックアップ検証データ

合計約 5.0GB (1MB x 5000 ファイル)

5) 構成

各サーバからギガビットスイッチへ LAN 接続し A8 も同じスイッチに接続。検証機毎に iSCSI 接続をサーバ x1 対 A8x1 にて実行、認識させる。



#### 4. 検証項目

- テープオートローダー仮想モード
  - OS 上での機器認識
  - CA ARCserve16 でのバックアップ/リストアテスト
  - Symantec BackupExec2010R3 でのバックアップ/リストアテスト
- 8ドライブ HDD(JBOD)モード
  - OS 上での機器認識、ドライブレター認識
  - ディスクへのベンチマークテスト
- サーバ管理ソフトウェア(ServerView)との共存
  - A8 管理ツールとサーバ管理ソフトの干渉はないか

#### 5. 検証結果

##### テープオートローダー仮想モード

	RX200	RX300	TX200	TX300
デバイス構成				
ARCserve16	○	○	○	○
BackupExec2010	○	○	○	○
		※iSCSI と BackupExec の起動順		
ARCserve からのバックアップ/リストア				
1MBx5000Files 圧縮モード バックアップ	939.72MB/m	878.14MB/m	1013.91MB/m	1010.58MB/m
1MBx5000Files 非圧縮モード バックアップ	1.71GB/m	1.72GB/m	1.47GB/m	1.67GB/m
1MBx5000Files リストア 圧縮モード	680.41MB/m	708.57MB/m	706.94MB/m	703.71MB/m
1MBx5000Files リストア 非圧縮モード	1.90GB/m	1.89GB/m	1.65GB/m	1.77GB/m
BackupExec からのバックアップ/リストア				
1MBx5000Files 非圧縮モード バックアップ	1.746GB/m	1.609GB/m	1.514GB/m	1.736GB/m
1MBx5000Files リストア 非圧縮モード	1.921GB/m	1.874GB/m	1.983GB/m	1.897GB/m

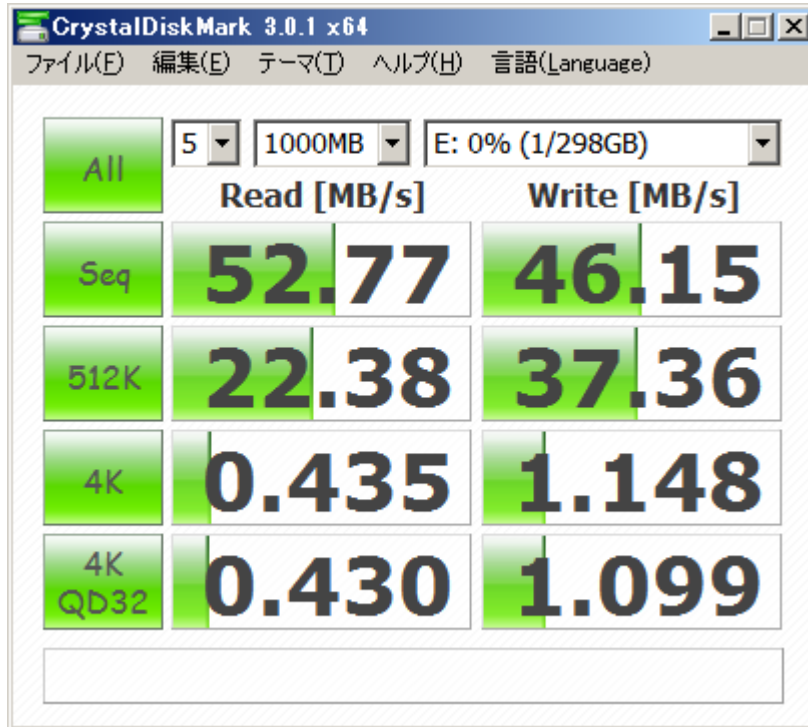
※iSCSIとBackupExec(Symantec BackupExec2010R3)のサービス起動順……サーバ起動時にはBackupExec サービスより iSCSI サービスが先に開始されるべきであるが、テスト時の構成によっては BackupExec サービスが先に開始され、BackupExec のデバイス構成ができなくなる場合があった。その場合は WindowsServer2008 のサービスマネージャにて BackupExec 関連 のサービスを『遅延開始』に設定することで回避できる。(サービスのプロパティにて設定)

### 8ドライブ HDD(JBOD)モード

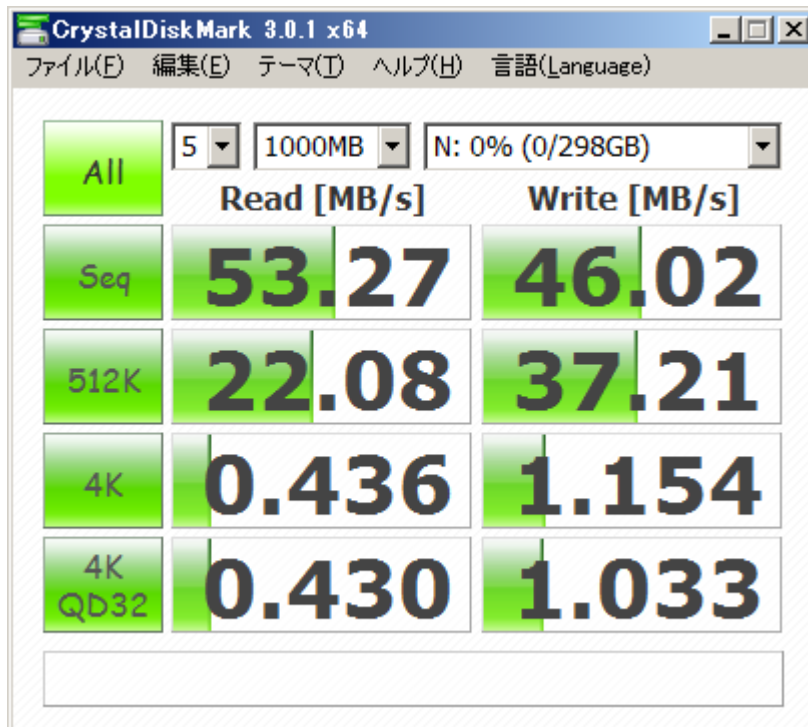
OS 上での iSCSI 接続・ドライブ認識に問題は見られなかった。

<ベンチマークテスト>.....CrystalDiskMark 3.0.1 x64 を使用

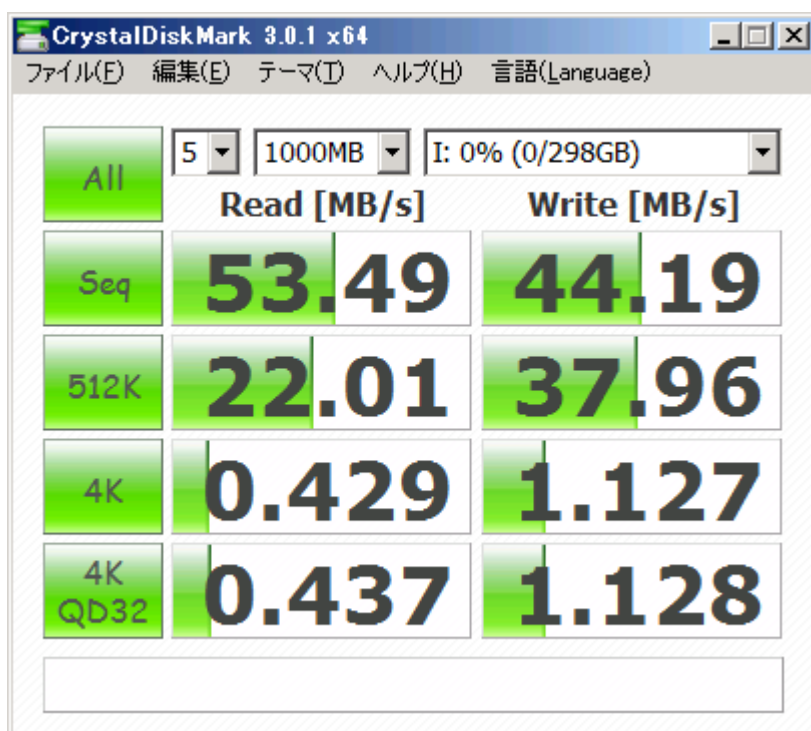
ORX200



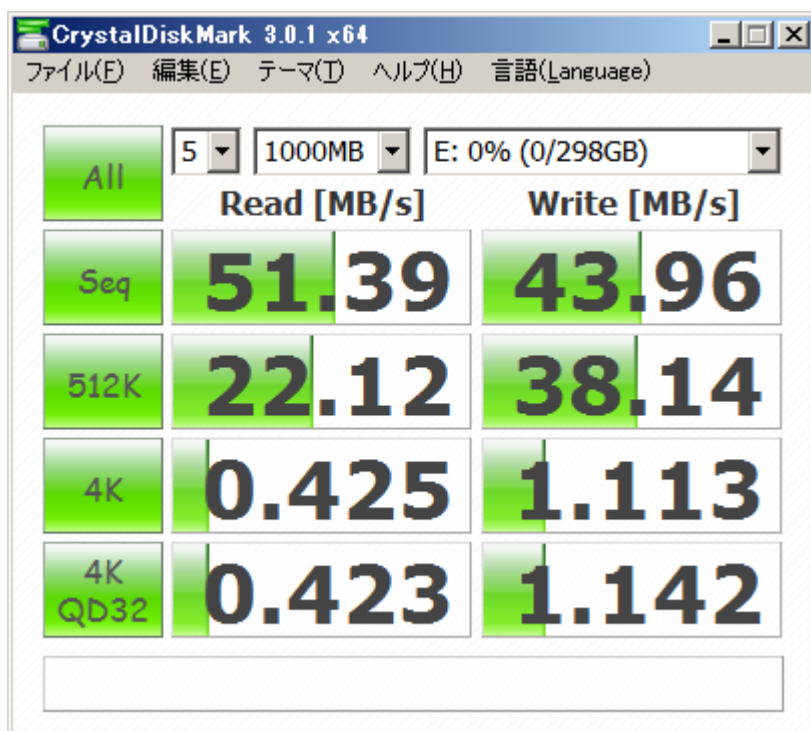
ORX300



○ TX200



○ TX300



### サーバ管理ソフトウェア(ServerView)との共存

サーバ管理ソフトウェアとの共存	RX200	RX300	TX200	TX300
・A8 管理ツールとサーバ管理ツールの干渉はないか	○	○	○	○

ServerView サービスが開始されている状況でも A8 管理ツールは問題なく動作した。



本資料に関するお問い合わせ先

イメーション株式会社

コマーシャル製品事業本部第三営業部

TEL:03-5774-3704 FAX:03-5774-3903

イメーション株式会社 お客様相談室

<http://www.imation.co.jp/info/contact.html>